

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の2】

受験番号兼申請番号 医・歯・技

(この上の欄には記入しないで下さい)

西暦 年 月 日

症例番号 2

- 1) 医療機関；
- 2) カルテ番号；×××
- 3) 年齢；(初診時) 15歳
- 4) 性別；女
- 5) 職業；高校生
- 6) 主訴・主症状；日中の強い眠気、脱力発作、入眠時幻覚、睡眠麻痺。
- 7) 診断；ナルコレプシー  
ナルコレプシーは「睡眠障害国際分類第二版(2005)」の診断基準に従って診断。
- 8) 既往歴；なし
- 9) 家族歴；父親も日中の眠気を感じているが、本症例に比べて軽く、日常生活に支障は無い。
- 10) 現病歴；  
10歳頃より日中の強い眠気を感じる。学校の授業中や試験中も寝てしまい、日中の居眠りの際にも金縛りを伴う。大きく笑ったり、興奮すると一瞬体に力が入らなくなり足がガクガクするという脱力発作が13歳頃より出現、現在週に2回くらい生じるといふ。授業中に聞いた戦争の話や外国の話が寝入りばなに夢に出て、その情景が見えるという入眠時幻覚が現れる。夜の入眠時幻覚はほとんど毎日起こっている。授業中の居眠りが深刻なものとなり 年 月 日受診となった。
- 11) 心身の一般的所見；身長：153.1cm、体重：70.6kg、Body mass index：30.1kg/m<sup>2</sup> 血圧：126/70(正常)  
神経学的所見・精神医学的所見：なし Epworth Sleepiness Scale：19点
- 12) 主要な臨床検査所見；  
生化学：総コレステロール 236mg/dl、尿酸 7.0mg/dl、血小板数 38.3×10<sup>4</sup>/μl  
これらが高値を示す以外はすべて正常。  
HLA型判定：DRB1\*1501(+) DQB1\*0602(+)  
心電図検査：正常範囲
- 13) 睡眠ポリグラフ(PSG)所見；  
終夜睡眠ポリグラフ(年 月 日)：表2、図1  
睡眠：総睡眠時間は538.5分。睡眠潜時は0.5分と短く、Sleep onset REM period(SOREMP)を認めた(REM潜時2.5分)。睡眠構築は、深睡眠量は正常範囲であるものの、REM睡眠量が減少(14.1%)傾向であった。またWASOが56.2分と年齢正常値より多く、睡眠効率は90.5%であった。  
睡眠時呼吸障害：なし  
周期性四肢運動：なし  
心電図：正常  
翌日の睡眠潜時反復テスト(Multiple Sleep Latency Test：MSLT検査)(年 月 日)：表1  
SOREMP 4/4回、平均睡眠潜時0.38分
- 14) 鑑別診断；日中居眠りは15分程度、また昼寝後の爽快感が明らかなことより、長時間睡眠を伴う特発性過眠症は除外される。病相性の眠気の変動はなく発症以来間歇期なく眠気が持続しているため反復性過眠症も考えにくい。また夜間の睡眠時間帯は正常域であり、入眠も問題ないことから睡眠相後退症候群等のリズム障害も除外される。

## 症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

発症以来 3 ヶ月以上持続する日中の眠気、情動脱力発作、睡眠麻痺、入眠時幻覚などの REM 睡眠関連症状、PSG での睡眠潜時短縮と SOREMP の存在、睡眠潜時反復テストでの睡眠潜時の短縮と SOREMP (4 回) の出現よりナルコレプシーと診断された。

15) 治療方法；薬物療法 (ペモリン、塩酸メチルフェニデート、塩酸クロミプラミン)

16) 治療効果・経過予後；初診時よりペモリン 25mg、塩酸メチルフェニデート 5mg を服用したところ初めはすっきりしたがすぐに慣れて効果が感じられなくなった。塩酸メチルフェニデートを 10mg に増やし昼食後と授業の合間に服用するようにしたが授業中の居眠りがあり情動脱力発作もみられた。ペモリン 50mg、塩酸メチルフェニデート 20mg に増量したところ、学校の試験も眠らずに受けることができ、授業中も起きていられることが多くなった。さらに塩酸クロミプラミン 20mg 追加により情動脱力発作は著しく減少した。

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の3】

上記症例に関する診療あるいは検査および報告書作成を指導したことを確認します。	
西暦 年 月 日 学会認定医、学会認定歯科医、学会認定検査技師 (学会認定証の番号： ) 所属診療科の長(該当する事項を 印で囲って下さい)	
医療機関と診療科名および職名	氏名 印
審査員のコメント	
審査結果：合格、 保留、 不合格	担当審査員の氏名

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】

(図・表は下の枠内に貼り付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

表1 MSLT 検査結果

	睡眠潜時	REM 潜時
1 回目	0.00 分	0.00 分
2 回目	0.00 分	1.00 分
3 回目	0.50 分	1.50 分
4 回目	1.00 分	0.50 分
平均	0.38 分	0.75 分

SOREMP：4 回中 4 回出現

検査日は服薬なし。一日中強い眠気を感じており、4 回とも夢を見て内容を覚えているとのこと。  
(特に 3 回目は亡霊が乗り移る夢をみたとのこと)

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

表2 終夜睡眠ポリグラフ検査所見

項目		診断PSG	
睡眠	総睡眠時間(TST)	535.8 分	
	WASO	56.2	9.5% <sup>1</sup>
	睡眠段階1(SPT)	60.4 分	10.2 % <sup>1</sup>
	睡眠段階2(SPT)	294.8 分	49.8 % <sup>1</sup>
	睡眠段階3(SPT)	34.9 分	5.9 % <sup>1</sup>
	睡眠段階4(SPT)	62.2 分	10.5 % <sup>1</sup>
	睡眠段階 REM(SPT)	83.5 分	14.1 % <sup>1</sup>
	睡眠潜時	0.5 分	
	REM 潜時	2.5 分	
	総覚醒指数(Arousal Index)	8.5 回/時間	
	睡眠効率	90.5 %	
呼吸	無呼吸指数	0.2 回/時間	
	低呼吸指数	1.8 回/時間	
	無呼吸低呼吸指数	2.0 回/時間	
	動脈血酸素飽和度の平均値	98 %	
	動脈血酸素飽和度の最低値	92 %	
	動脈血酸素飽和度の低下指数	1.8 回/時間	
心電図	不整脈	なし	
下肢運動	下肢運動の回数	6 回	
	PLM 指数	0.7 回/時間	
	PLM arousal index	0.0 回/時間	

\* 1 %SPT ( Sleep period time )

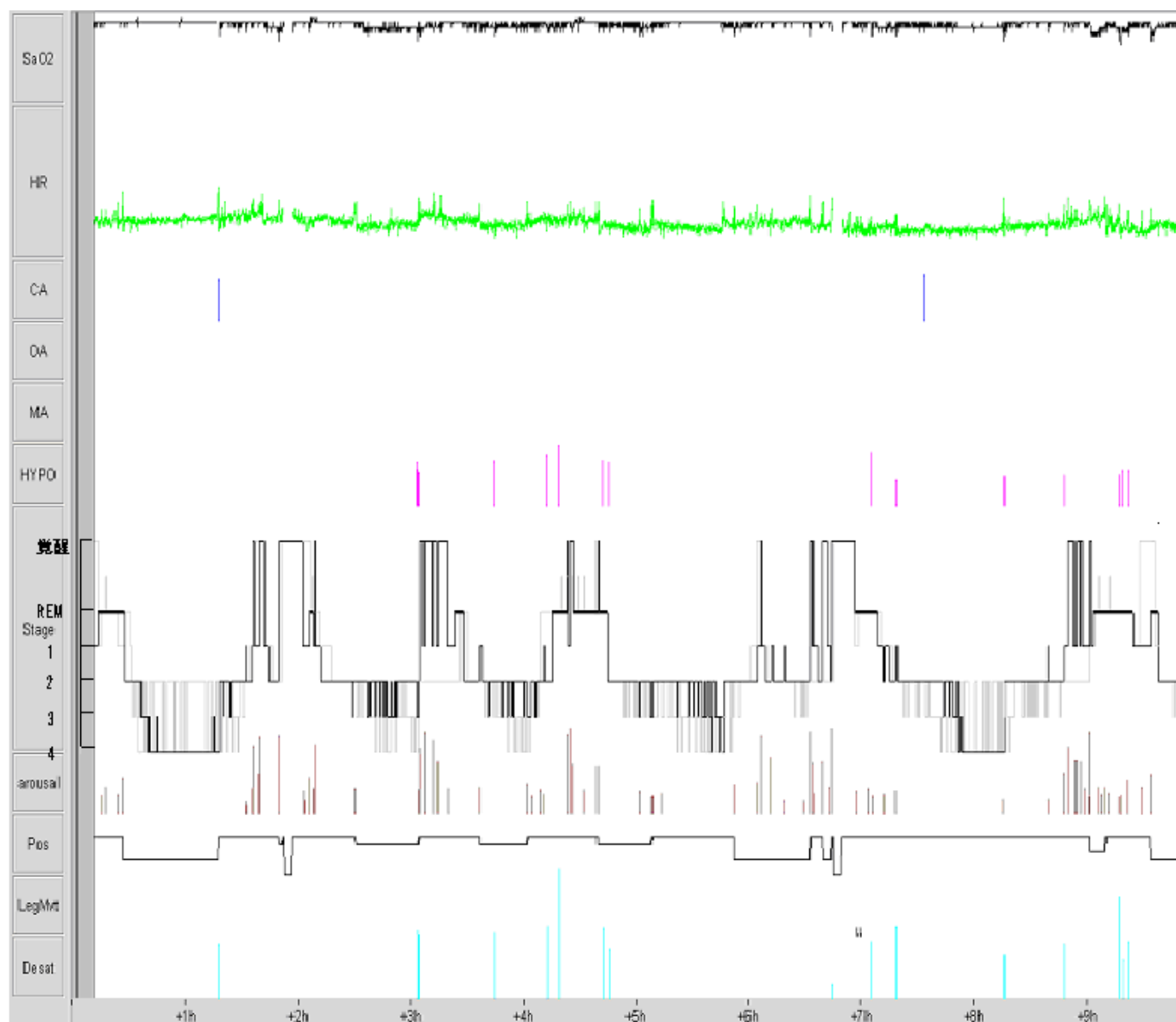
\* TST : Total Sleep Time WASO : Wake after sleep onset PLM : periodic limb movement

症例をそのままコピーペーストした場合は試験不合格の事由にあたります。

【様式4の4】

(図・表は下の枠内に貼り付け、各図・表に番号、タイトル、説明文をつけること)

図1 ポリソムノグラム



\* 図中略語の意味

SaO<sub>2</sub> : 動脈血酸素飽和度    HR : 心拍数    CA : 中枢性無呼吸    OA : 閉塞性無呼吸

MA : 混合性無呼吸    HYPO : 低呼吸    Stage : 睡眠段階

Arousal : 中途覚醒反応    Pos : 体位    Leg Mvt : 周期性四肢運動

Desat : 動脈血酸素飽和度の3%以上の低下